


 みどり
水土里ネットみやぎ

土地改良広報

特集

3.11東日本大震災から1年を迎えて(復興元年)



2012

4

写真：船形山と菜の花（宮城県観光課提供）

トピックス

- P.2 特集 3.11東日本大震災から1年を迎えて(復興元年)
- P.5 第53回通常総会並びに平成23年度土地改良功労者表彰式を開催
- P.9 平成24年度の本会予算が決まる
- P.10 平成23年度第5回理事会を開催
- P.11 村井県知事・中村県議会議長へ御礼
- P.12 全国水土里ネット第54回通常総会が開催される
- P.13 第53回全国水土里ネット表彰式が開催される
- P.14 平成23年度みやぎの中山間地写真コンクール審査発表
- P.16 みやぎ農業農村震災復興シンポジウムが開催される
- P.17 平成23年度農地・水保全管理支払活動組織支援研修会
- P.18 平成23年度農業農村整備事業広報大賞決まる
- P.18 NNスノーパスターズに参加しました

土地改良区めぐり～シリーズ8～

- P.20 柴田郡村田町外一町澄川土地改良区

事業(制度)紹介

- P.22 農山漁村被災者受入円滑化支援事業
- P.22 被災土地改良区復興支援事業

農地・水保全管理支払交付金

- P.23 大崎市旧迫川右岸地域環境保全推進協議会

おしらせ

- P.24 連合会日誌・今後の行事予定
- P.25 人事異動(東北農政局・宮城県・土地連)



特集 3.11東日本大震災から1年を迎えて(復興元年)

東日本大震災から1年が経過し、被災地では復興に向けた取り組みが着実に進行しております。この間、全国の方々から大変心温まる物心両面にわたる御支援を賜りましたことに対しまして、深甚なる感謝を申し上げます。

宮城県内の農業関連被害額は、5,495 億円となり、昨年 5 月（1 次査定）から平成 24 年 1 月（28 次査定）まで、約半年間かけて実施してきた 2,449 件のすべての災害査定が完了しました。

昨年は復旧に向けて全速力で駆け抜けた1年でしたが、今年は既に復興に向けて前に進んでいる状況であり、震災から1年を迎え様々な記憶や思いが甦ります。3. 11の震災の記憶を風化させないよう、本会では今後も特集として東日本大震災のその後を掲載して参ります。

～農と地域の再生に向けて～

【東日本大震災による宮城県農業関連の被害状況】

農業関連被害額 5,495 億円

(内 訳)

- ・農地・農業施設被害 3,973 億円 (用排水路・用排水機場・農道等の損壊)
- ・農業関係施設被害 317 億円 (農業倉庫・カントリーエレベーター等の損壊)
- ・農業用資機材被害 435 億円 (トラクター・コンバイン・田植機・乾燥機等の損壊)
- ・農作物被害 66 億円 (米、大豆の浸水、流出等)
(いちご・野菜類・麦類・花き等)
- ・生活環境施設被害 269 億円 (集落排水施設等の損壊)
- ・農地海岸保全施設被害 435 億円 (海岸防潮堤の損壊 (26.5km))



【災害査定状況】

－ 査定期間 －

第 1 次査定 (平成 23 年 5 月 12 日～ 13 日) ～
第 28 次査定 (平成 24 年 1 月 30 日～ 31 日)

－ 災害査定結果 －

- ・ 査定件数： 2,449 件 / 復旧事業費：1,160 億円 (県営/団体営)
- ・ 農地： 350 件 636 億円
- ・ 農業用施設： 1,540 件 238 億円
- ・ 農地海岸： 103 件 192 億円
- ・ 除塩： 371 件 40 億円
- ・ 農業集落排水施設等生活環境施設： 85 件 54 億円



舟入川排水路

■被災直後■

□現在の状況□



※震災で発生したガレキにより水路は通水が阻害されていたが撤去された。しかし、地盤沈下による自然排水の悪化等が問題となっている。

閑上排水機場

■被災直後■

□現在の状況□



※県内で被災した排水機場 69 ヶ所のうち 51 ヶ所が復旧（一部復旧を含む）し、排水能力も全体で震災前の 76% にまで回復した。

山元町坂元

■被災直後■

□現在の状況□



※県内で津波により被害を受けた農地 12,576haのうち、平成 23 年度内に 2,890ha で除塩等の復旧が完了した。



-3F 事務所内-



-2F 事務所内-

地震発生直後の本会



-外に避難する本会職員-



-幼児を避難場所へ誘導する本会職員-

第53回通常総会並びに平成23年度土地改良功労者表彰式を開催



第 53 回通常総会

本会では、去る3月28日(水)、午後1時30分より宮城県土地改良会館において、第53回通常総会を開催した。

当日の総会には、東北農政局長代理として本間農村計画部長、宮城県知事代理として日置農林水産部技術参事、宮城県議会議長代理として佐々木副議長、ほか関係機関及び関係団体、並びに衆議院及び参議院の国会議員を来賓に迎え、会員多数が出席する中、主催者を代表して伊藤会長が挨拶(別掲)を述べ開会した。

議事に先立ち表彰式が行われ、役員功労者表彰とし

て永年勤続功労の新田北部土地改良区(東部支部)の遊佐総括監事ほか13名の方々に対し、伊藤会長より表彰状並びに記念品が授与された。

引き続き、ご来賓を代表して東北農政局長、宮城県知事、宮城県議会議長、郡和子衆議院議員、橋本清仁衆議院議員からそれぞれご祝辞を頂戴し、来賓紹介並びに祝電披露がなされ議事に入った。

議事では、七ヶ宿町の梅津輝雄町長が議長に選任され、第1号議案から第10号議案までの10案件が上程され、慎重審議の結果、第1号議案から第9号議案までは原案どおり承認可決された。

続いて、第10号議案の役員の補欠選任が行われ、各支部より推薦を受け選任された計8名の詮衡委員が慎重審議した結果等を千葉詮衡委員長(鶴田川沿岸土地改良区・理事長)より報告され、報告どおり承認された。

最後に決議案(別掲)が、千葉専務理事より朗読上程され、満場の拍手により採択決定した後、千葉副会長が閉会の挨拶を述べ、総会の一切を終了した。

本総会の提出議案は、次のとおり。

- 第1号議案 平成23年度一般会計収支補正予算の理事会専決処分に係る報告承認について
- 第2号議案 平成23年度一般会計収支補正予算の承認について
- 第3号議案 宮城県土地改良事業団体連合会規約の一部改正について
- 第4号議案 平成24年度事業計画について
- 第5号議案 平成24年度一般会計収支予算について
- 第6号議案 平成24年度役員報酬について
- 第7号議案 平成24年度経費の賦課徴収方法について
- 第8号議案 平成24年度一時借入について
- 第9号議案 平成24年度余裕金の預け入れ先金融機関について
- 第10号議案 役員の補欠選任について

なお、第10号議案の役員の補欠選任では、会員を代表しない理事として高橋清隆氏(宮城県農林水産部次長)が選任され、任期については、平成24年4月1日から平成27年8月22日までの残任期間となった。

第53回通常総会・会長挨拶の要旨

第53回通常総会を開催するにあたりまして、会長としてご挨拶を申し上げます。

本日は、会員の皆様には年度末の何かとご多用のところ、県内各地からお集まりを賜りまして厚くお礼申し上げます。

また、ご来賓として、宮城県知事さん、東北農政局長さん、宮城県議会議長さん、並びに国会議員の皆様をはじめ、関係機関の皆様方には年度末で大変ご繁忙の中ご臨席を賜り、錦上花を添えて頂きまして本総会が開催できます事に対し、深く感謝を申し上げます。

また、今回の震災からの復旧・復興に、大変ご尽力を頂いて参りましたこと、この機会に厚くお礼申し上げたいと思っております。

昨年10月20日に3.11東日本大震災復興支援「水土里の集い・第34回全国土地改良大会inみやぎ」を開催した折にも、本日出席の皆様方には復旧最中ではございましたが大変なご支援を頂き、改めてお礼を申し上げます。

あの忌まわしい3.11東日本大震災から既に1年余が経過致しました。今回の大震災は地震・津波・原子力発電事故、さらには風評被害も加わり、過去に経験のない未曾有の大災害となりました。本県においては、地震に加え太平洋沿岸は津波により多くの尊い命が失われ、また住宅やライフライン等の生活基盤、そして、農業・水産業・商工業等の産業基盤が壊滅的被害を受けたところでございます。

農業、土地改良関係では本県農地面積の1割、5,000ヶ所の土地改良施設が被災、とりわけ沿岸部に広がる本県を代表する仙台平野を中心とする美しく豊かな豊穡の郷、水・土・里の景観が一瞬にして失われる甚大な被害となりました。本会と致しましては、被災直後から国・県・市町村と連携を図りながら、会員や組合員の支援と、被害を受けた農地及び農業用施設の早期復旧・復興に向け取り組んで参りました。特に、今回の災害は、その甚大性や迅速な対応が必要なことから、北は北海道から南は九州の1道7県総勢2,500人に及ぶ人的支援を受け昨年末までに全査定を完了することが出来ました。

また、土地改良区や組合員の被災が甚大なことから、支援を国に強く要望し、国・県のご配慮により各種支援策が講じられたところであります。この場をお借り致しまして重ねて感謝を申し上げる次第であります。24年度4月からは、県・市町村の復興計画に基づいた本格的な復旧・復興を進める、まさに復興元年となることを踏まえ、本会のこれまでに蓄積された技術力と本会組織の総合力を発揮して本県農業農村の早期の復旧・復興に貢献して参る所存でございます。

さて、本県の農業・農村は我が国、有数の食料基地として高品質で安全・安心な農作物の生産や活力ある地域づくりに貢献して参りましたが、近年の農業農村整備予算の激減や今回の東日本大震災による農地や農業用施設の甚大な被害を受け、極めて厳しい状況になっております。このような状況を踏まえ、本会と致しましては、本県農業が今後とも我が国の主要な食料基地として、東日本大震災からの早期の復興をはじめ、食料供給の強化に不可欠な基盤整備や農村振興に必要な施策について、必要な予算の確保に努めつつ、積極的に展開して行くことが本連合会に課せられた使命と自覚し、今後、関係機関並びに会員各位との連携を一層深めながら、みやぎの農業・農村の振興発展に最大限の貢献をして参る所存でありますので皆様の力強いご支援とご協力をお願い申し上げます。

本日の通常総会は、平成23年度一般会計収支補正予算関連、規約の一部改正、平成24年度一般会計収支予算関連並びに役員補欠選任の案件でございます。何卒宜しくご審議を賜り、全議案が順調、速やかにご承認されますよう、会員皆様の特段のご協力をお願い申し上げます。開会の挨拶と致します。

決 議

昨年発生した東日本大震災は地震・津波・原子力発電事故、さらには風評被害も加わり、過去に経験のない未曾有の大災害となりました。本会としては被災直後から関係機関と連携を図りながら農地・農業用施設の早期復旧・復興に向けて全力で取り組んできた。今年度からは、県、市町村の復興計画に基づいた本格的な復旧・復興を進める復興元年となることを踏まえ、本会のこれまでに蓄積された技術力と組織の総合力を発揮し被災地域の復旧・復興に向けての支援に最大限取り組んで参る所存である。

また、全国の農業・農村に於いては、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積みしている中であっても、本県の農業・農村はわが国有数の食料基地として、高品質で安全・安心な農作物の生産や活力ある地域づくりに貢献してきた。

しかしながら、農業農村整備事業予算の激減とこの大震災の中、国においては貿易の自由化を目指す関係国とのTPP(環太平洋連携協定)協議に入るとしているが、この政策は本県農業・農村への影響も計りしれなく、国民の食料安全保障や地域経済、日本の伝統文化、美しい農村等に極めて大きな影響が懸念されることから、食料自給率の向上や多様な農業の共存、多面的機能の確保等の幅広い視点からの国民的議論を踏まえ慎重に対応することを強く求めるものである。

このような状況を踏まえ、本県の農業・農村が今後とも我が国の主要な食料基地として、東日本大震災からの早期の復興はじめ、食料供給の強化に不可欠な基盤整備や農村振興に必要な施策について、必要な予算の確保に努めつつ、積極的に展開していかなければならない。

我々水土里ネットは、国、県並びに市町村と連携を深めながら、先人達の努力の結晶の積み重ねに習い、農業者や地域の理解と協力のもと東日本大震災の早期復旧・復興並びに活力ある農村環境づくりと食料供給力の強化に積極的に貢献していく覚悟であり、下記事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 1.東日本大震災による農地及び農業用施設の早期復旧・復興と被災した土地改良区に対する支援を更に充実させること。
- 2.国が目指す食料自給率の向上のためには、水田の汎用化のための排水対策や農地の災害を未然に防止するきめ細かな農地の整備を推進すること。
- 3.食と農業の再生に向け、農業水利施設における老朽化に対応した更新や、施設の耐震化などの防災減災対策を早急に進めるとともに、末端施設の維持補修も含めた必要な予算措置を講じること。
- 4.農村協働力を活かした地域資源や農村環境の適切な保全と質的な向上を図るため「農地・水・保全管理支払交付金」に対し、水土里ネットとして主体的に取り組んでいくこと。
- 5.地域農業の担い手の一員として、役割と責務を果たすべく水土里ネットの組織基盤の強化・充実を図ること。

平成24年3月28日

宮城県土地改良事業団体連合会

(水土里ネットみやぎ)

第53回通常総会

第53回通常総会・表彰者名簿



◆◆ 1. 団体の部表彰 ◆◆
(該当団体なし)

◆◆ 2. 役員の部表彰 (14名) ◆◆

【大河原支部】

永年勤続功労 (15年)	柴田郡村田町外一町澄川土地改良区 代表監事	柴崎 俊信
--------------	-----------------------	-------

【仙台支部】

永年勤続功労 (16年)	大和町吉田土地改良区 副理事長	小野 誠一
--------------	-----------------	-------

永年勤続功労 (16年)	大和町吉田土地改良区 総括監事	碓井 忠郎
--------------	-----------------	-------

永年勤続功労 (15年3ヶ月)	金洗堰土地改良区理事長 (大衡村村長)	跡部 昌洋
-----------------	---------------------	-------

【北部支部】

永年勤続功労 (21年)	鳴瀬川土地改良区 総括監事	佐藤 秀雄
--------------	---------------	-------

永年勤続功労 (16年)	荒川堰土地改良区 理事	萩原 俊二
--------------	-------------	-------

永年勤続功労 (15年)	加美郡西部土地改良区 総括監事	吉岡 隆生
--------------	-----------------	-------

永年勤続功労 (15年)	加美郡西部土地改良区 理事	今野 徳男
--------------	---------------	-------

永年勤続功労 (15年)	涌谷町土地改良区 理事	木村 正義
--------------	-------------	-------

永年勤続功労 (16年3ヶ月)	美里東部土地改良区 筆頭理事	尾形 正幸
-----------------	----------------	-------

【東部支部】

永年勤続功労 (18年10ヶ月)	新田北部土地改良区 総括監事	遊佐 吉信
------------------	----------------	-------

永年勤続功労 (17年10ヶ月)	新田北部土地改良区 理事	星 公 司
------------------	--------------	-------

永年勤続功労 (16年6ヶ月)	登米市豊里町土地改良区 総括監事	佐々木 功
-----------------	------------------	-------

永年勤続功労 (16年6ヶ月)	登米市豊里町土地改良区 監事	佐々木 謙一
-----------------	----------------	--------

◆◆ 3. 職員の部表彰 ◆◆
(該当者なし)

※記載内容は平成24年3月31日

表彰された皆様大変おめでとうございます。

～ 専務理事に高橋清隆氏 就任 ～



高橋清隆氏

本会第53回通常総会において、高橋清隆氏が理事に選任され、総会終了後の互選会において専務理事に就任した。

～ 主な経歴～

昭和50年4月	宮城県職員採用
平成16年4月	大河原地方振興事務所部長
平成18年4月	仙台地方振興事務所部長
平成19年4月	農林水産部農村振興課長
平成21年4月	農林水産部次長兼農村振興課長
平成22年4月	農林水産部次長
平成24年3月	退職

平成24年度の本会予算が決まる 総額18億3千万円(対前年比92%)

本会では去る3月28日(水)開催の第53回通常総会に、平成24年度の本会予算案を上程し、原案どおり承認可決された。

予算総額は、平成23年度に比べ92%と縮小しているが、受託収入は東日本大震災に係る復興関連の業務が見込まれることから当初予算では139%と大幅な増となっている。

予算の概要は次のとおり。

平成24年度収入支出予算総括表

収入の部

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度 予算額	比較増△減	前年対比	付記
1. 一般管理収入	21,878	26,550	△4,672	82.4%	
2. 補助指導事業収入	3,654	4,584	△930	79.7	
3. 受託事業収入	850,040	610,040	240,000	139.3	
4. 維持管理適正化事業収入	538,675	743,746	△205,071	72.4	
5. 農道台帳管理事業収入	3,020	3,010	10	100.3	
6. 土地改良基金事業収入	30	50	△20	60.0	
7. 農家負担金軽減対策事業収入	291,675	335,534	△43,859	86.9	
8. 国営負担金償還対策事業収入	97,100	99,500	△2,400	97.6	
○ 東日本大震災復興支援水土里の集い収入	—	14,000	△14,000	皆減	科目廃止
⑨ 基本財産運用収入	8,092	8,092	—	100.0	
⑩ 特定資産運用収入	14,746	14,492	254	101.8	
⑪ その他の収入	20	20	—	100.0	
⑫ 特定資産取崩収入	1,040	130,352	△129,312	0.8	
⑬ 固定資産売却収入	10	10	—	100.0	
⑭ 出資金等戻り収入	20	20	—	100.0	
当期収入合計(A)	1,830,000	1,990,000	△160,000	92.0	
前期繰越収支差額	195,942	190,839	5,103	102.7	
収入合計(B)	2,025,942	2,180,839	△154,897	92.9	

支出の部

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度 予算額	比較増△減	前年対比	付記
1. 一般管理支出	128,998	156,996	△27,998	82.2%	
2. 補助指導事業支出	3,654	5,184	△1,530	70.5	
3. 受託事業支出	634,300	527,850	106,450	120.2	
4. 維持管理適正化事業支出	538,675	743,746	△205,071	72.4	
5. 農道台帳管理事業支出	3,020	3,010	10	100.3	
6. 土地改良基金事業支出	80	100	△20	80.0	
7. 農家負担金軽減対策事業支出	291,675	335,534	△43,859	86.9	
8. 国営負担金償還対策事業支出	97,100	99,500	△2,400	97.6	
○ 東日本大震災復興支援水土里の集い支出	—	14,000	△14,000	皆減	科目廃止
⑨ その他の支出	99,620	73,620	26,000	135.3	
⑩ 基本財産取得支出	8,092	10	8,082	皆増	
⑪ 特定資産取得支出	14,756	22,588	△7,832	65.3	
⑫ 固定資産取得支出	10	10	—	100.0	
⑬ 出資金等支出	20	20	—	100.0	
⑭ 予備費	10,000	5,000	5,000	200.0	
当期支出合計(C)	1,830,000	1,987,168	△157,168	92.1	
当期収支差額(A)-(C)	—	2,832	△2,832	—	
次期繰越収支差額(B)-(C)	195,942	193,671	2,271	101.2	



平成23年度第5回理事会を開催

本会では去る3月6日(火)、平成23年度第5回理事会を開催し、第53回通常総会の提出議案について他の審議を行った。

当日は伊藤会長はじめ理事11名が出席、監事3名が同席し参与の高橋宮城県農林水産部次長の臨席により開催された。

初めに伊藤会長及び高橋参与から挨拶を頂き、次いで平成23年度の定期監査の結果報告が小野寺総括監事からなされ、議事に入った。

議事は5案件を上程し、事務局から議案の内容説明等を行い、原案どおり承認可決された。

議事終了後、千葉専務理事から①「東日本大震災」の災害調査状況(H24.3.2)について、②東日本大震災に係る農地・農業用施設の復旧復興ロードマップについて、③平成24年度農林水産関係予算の概要について、④小水力発電及び再生可能エネルギー関係について、⑤農林漁業用「軽油・A重油」の免税及び還付関係について、⑥農山漁村被災者受入円滑化支援事業について、⑦本会・会員関係について、⑧その他等の事務報告を行い終了した。

理事会提出議案は次のとおり。

- 議案第1号 農家負担金軽減支援対策事業審査委員会規定の一部改定に伴う会長専決に係る報告承認について
- 議案第2号 嘱託職員取扱規定の一部改定について
- 議案第3号 職員給与規定の一部改定について
- 議案第4号 第53回通常総会の提出議案について
- 議案第5号 第53回通常総会の日時及び場所の決定について

SEKISUI 地震対策には

エスロンプラスチックリブパイプ

日本下水道協会規格 JSWAS K-13-2003

特長

- 砕石基礎による耐震ライン
- 軽量かつ高い剛性
- コスト削減に貢献

液状化対策 国交省指針の
砕石基礎に最適です!

砕石基礎が
管に作用する力を
消滅!



積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー 東北官需営業所
〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺1-4-5(ノースヒアビル) TEL. 022(298)6043

エスロンタイムズ on the Web
<http://www.eslontimes.com>

村井県知事・中村県議会議員長へ御礼

—県営土地改良事業条例第4条に基づく農家負担の免除に対する御礼—

大震災から1年余が経過し、被災地では復興に向けた取り組みが着実に進行している。

この間、県のご指導ご支援のもと、被災状況調査や仮復旧工事等を逐次適切に処置して頂いた。特に排水機場の機能復帰、用排水路・農地の瓦礫撤去及び除塩などにより、平成 24 年度は津波被害の農地 5,250 ヘクタールの作付が可能となる。

また、東日本大震災復興交付金に移行した地区については、県財政が厳しい中であって、平成 23 年度及び 24 年度の農家分負担金について、県営土地改良事業条例第 4 条に基づき全額免除いただいた。これらのことについて、会長はじめ関係各機関の代表者が村井県知事、中村県議会議員長を訪問し、今後の地域農業復興の推進と再興への意欲に繋がるものと感謝の意を申し上げた。



村井県知事との意見交換



村井県知事へ御礼



中村県議会議員長へ御礼

測量の新時代！
モバイル・マッピング・システム

MMS でコストダウンと作業効率を向上

土地改良事業の基盤地図データの作成から、農道台帳、用排水施設アセットマネジメント、田面高の調査など道路を走行するだけで必要な空間情報（3次元情報）を取得し、短工期で高精度なデータをお客様に提供します。

株式会社パスコ 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-2-11 問合せ：022-299-9522




全国水土里ネット第54回通常総会が開催される

去る3月27日(火)、東京都千代田区「都市センターホテル」において全国土地改良事業団体連合会第54回通常総会が開催された。

当日は野中会長の挨拶で始まり、三重県土地改良事業団体連合会の服部会長が議長に選任され議事に入った。

総会は12案件が上程され、第1号議案から第11号議案までは原案どおり承認可決された。また、第12号議案の役員補欠選任については、中條康朗氏(元農林水産省農村振興局長)が理事に選任された。

先の理事会において中條氏が選任された際は、専務理事に就任することが決定していたことから、その旨について報告があった。

引き続き決議が上程され事務局による朗読の後、原案どおり採決された。

議事終了後、第35回全国土地改良大会沖縄大会のPRが沖縄県土地改良事業団体連合会からあり、総会は終了した。

当日提出された議案及び採択された決議は次のとおり。



第54回通常総会の様子

- 第1号議案 平成22年度事業追加報告について
 - 第2号議案 平成22年度収入支出決算について
 - 第3号議案 平成23年度事業中間報告について
 - 第4号議案 平成23年度収入支出補正予算について
 - 第5号議案 平成24年度事業計画について
 - 第6号議案 平成24年度収入支出予算について
 - 第7号議案 平成24年度平準化利子補給積立金特別会計収入支出予算について
 - 第8号議案 平成24年度経費の賦課について
 - 第9号議案 役員報酬について
 - 第10号議案 一時借入金について
 - 第11号議案 都道府県土地改良事業団体連合会特別出資金の返還について
 - 第12号議案 役員補欠選任について
- 新たに選任された役員 -
中條 康朗 氏 (元農林水産省農村振興局長)

第53回全国水土里ネット表彰式が開催される

～農業農村整備優良地区コンクールで美里東部土地改良区が農林水産大臣賞を受賞～

去る3月27日(火)、第53回全国土地改良功労者表彰、農業農村整備優良地区コンクール表彰、21世紀土地改良区創造運動大賞表彰の各表彰式が東京都千代田区砂防会館別館において開催された。

本県からは、農業農村整備優良地区コンクール【農業生産基盤整備部門】で美里東部土地改良区「青生・青生2期地区」が農林水産大臣賞を受賞したのをはじめ、土地改良功労者表彰の団体表彰の部では、仙台市泉土地改良区が金章を、登米市東和町土地改良区と石巻市蛇田土地改良区が銀章を、西向土地改良区が銅章をそれぞれ受賞した。個人表彰では、加美郡西部土地改良区の渡辺ほ場整備課長と迫川沿岸土地改良区の星総務課長が表彰された。また21世紀土地改良区創造運動表彰では、亘理土地改良区に特別賞が授与され、今後の復興への期待のエールが贈られた。



全国水土里ネット表彰式の様子

－農業農村整備優良地区コンクール表彰－

☆農業生産基盤整備部門☆

農林水産大臣賞：美里東部土地改良区
「青生・青生2期地区」



農林水産大臣表彰・美里東部土地改良区

－土地改良功労者表彰－

☆団体表彰の部☆

金章：仙台泉土地改良区
銀章：登米市東和町土地改良区
石巻市蛇田土地改良区
銅章：西向土地改良区

☆個人表彰の部☆

渡辺 哲氏（加美郡西部土地改良区ほ場整備課長）
星 文昭氏（迫川沿岸土地改良区総務課長）

－21世紀土地改良区創造運動表彰－

特別賞：亘理土地改良区



受賞された皆様
大変おめでとうございます。

～平成 23 年度みやぎの中山間地写真コンクール審査発表!!～

去る 3 月 26 日 (月) 宮城県土地改良会館において、「平成 23 年度みやぎの中山間地写真コンクール」の審査会が開催された。

このコンクールは平成 14 年度から実施しており今回で 10 回目の開催となった。中山間地域の四季・風景・暮らしを紹介しこの地域の存在の重要性を広く県民にアピールし、認識してもらうことを目的としている。

応募総数は 23 点となり、東日本大震災の影響からか例年より少なめであった。審査は 4 名の審査員により厳正に行われた。

なお入選作品については、下記のホームページに掲載しておりますので是非ご覧下さい。



審査会の様子

審査員

- ・宮城県中山間 (協) 会長【七ヶ宿町長】 梅津 輝雄 氏
- ・宮城県農林水産部次長 高橋 清隆 氏
- ・宮城県写真連盟会長 永井 優 氏
- ・水土里ネットみやぎ専務理事 千葉 敬記 氏



<http://www.net-miyagi.org>



墨つけまつりとは、火伏と厄払いを祈願する小正月行事で男衆が家々を訪ねて住人に墨を塗って歩く行事。



■ 最優秀賞【墨つけまつり】

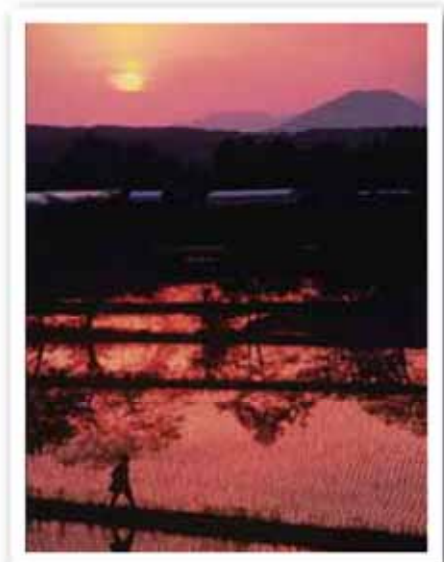
撮影者： 後藤 博

撮影地： 加美郡宮崎切込





■ 優秀賞【楽しいお花見給食】
撮影者：佐藤 徳文
撮影地：丸森町羽出庭小学校



■ 優秀賞【夕焼け里山】
撮影者：中山 隆夫
撮影地：色麻町



■ 佳作【つかの間の陽射し】
撮影者：高橋 太治
撮影地：石巻市真野



■ 佳作【乗り換えて】
撮影者：早坂 昭夫
撮影地：登米市東和町米川



■ 佳作【農村文化を守る
（ねじりほんによろ）】
撮影者：桜井 清



■ 佳作【山里の営み】
撮影者：玉田静司郎
撮影地：七ヶ宿町

みやぎ農業農村震災復興シンポジウムが開催される ～農業・農村の震災復興に向けて～

去る2月2日（木）に仙台サンプラザホテルにおいて、農村地域における震災復興の一層の推進を図るため、県内農業・農村の震災復興に向けたシンポジウムが開催された。

県内農業農村整備事業に関わる東北農政局・宮城県・市町村・土地改良区・土地改良事業団体連合会など約350名が参加した。

このシンポジウムは、東日本大震災から1年を迎えるにあたり被害を受けた農地や農業用施設の災害復旧を進めるとともに、農村地域における震災復興の一層の推進を図ることを目的として開催された。

まず始めに「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」と宮城の震災復興と題して、宮城大学事業構想学部長 大泉一貫氏より講演があった。日本の食と農林漁業再生のための基本方針と行動計画は、競争力のある強い農業を築いていこうという姿勢のもとに作られた計画・基本方針であり、TPPのあるなしに関わらず強い農業に転換し、成熟型農業を達成すべしとした。

次に市町復興計画の概要について、東松島市の五野井盛夫氏と山元町の阿部定一氏より被害の概況や被災状況・復興方針などについて報告があった。

最後に「震災復興のための農業農村整備について」と題して、宮城大学大学院食産業学研究科長 加藤徹氏より、県内沿岸部における農地の塩害等の被害を受けた状況と、今後の復興について講演があり「土地改良なくして被災した農業基盤の復旧はないし、農業基盤の復旧なくして農業の再生・復興はない。土地改良の底力を発揮し、よりよい復旧・復興につなげよう」と強く訴えた。

講演の後には意見交換が行われ、参加者は復興に向けての認識を新たにしていた。



開会挨拶： 宮城県農林水産部長 千葉 宇京 氏
 講演： 「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」と宮城の震災復興
 宮城大学事業構想学部長 大泉 一貫 氏
 報告： 市町復興計画の概要について
 東松島市 復興都市計画課 五野井 盛夫 氏
 山元町 震災復興推進課 阿部 定一 氏
 講演： 震災復興のための農業農村整備について
 宮城大学大学院食産業学研究科長 加藤 徹 氏
 閉会挨拶： 水土里ネットみやぎ専務理事 千葉 敬記 氏

平成23年度農地・水保全管理支払活動組織支援研修会

2月8日(水)、宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会は、宮城県大和町「まほろばホール」において、平成23年度農地・水保全管理支払活動組織支援研修会を開催し、県内の活動組織や関係者など約630名が参加した。

本研修会は、平成19年度から農地・農業用施設等の資源保全として取り組んできた現対策が今年で最終年度を迎えることから、これまでの取組で顕著な成果を挙げた活動組織を表彰するとともに、次期対策に向け、活動の向上を図ることを目的として開催された。

表彰は、県内活動組織517組織の中から宮城県知事賞を含む6つの賞を選考し、宮城県農林水産部高橋次長より賞状が授与された。

特に、知事賞の「下刈敷地区環境保全活動組織(栗原市)」は、メダカが生息する水田で安全で安心な米作りに取り組み、平成21年10月「栗原めだかつこ米」としての商標登録・販売、地元小学校との環境学習など、地域ぐるみでの共同活動やブランド米作りなどの先進的な営農活動に取組、地域の活性化、農村環境の保全や農業生産活動の維持・発展への貢献が評価されて受賞に至った。

また、会長賞の「上川名地区資源保全隊(柴田町)」は、事業を契機に町一番の美しいムラにしたいという思いが地域に芽生え、非農家の参加協力を得て、蛍鑑賞会の開催などを通して地域外の人々との交流や農村レストランを開設するなど、地域資源の保全と活用を図り、地域振興への貢献が評価されて受賞に至った。

基調講演では、(有)地域環境デザイン研究所 所長 宮原博通 氏が「農村コミュニティと現代の結い」



と題し、「私たちの住む“まち”に、賑わいをもたらすことが出来るのは、[主体性][発信][交流]を機軸に据えた現代の「結いの世界」の構築に他ならない。」と述べるなど、参加者は講演をメモを取るなどしながら、聴講した。

また、優良活動組織による事例発表会では、宮城県知事賞受賞の下刈敷地区環境保全活動組織、宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会長賞受賞の上川名地区資源保全隊、H23豊かなむらづくり全国表彰農林水産大臣賞受賞のおのだ城内・上区集落活動組織の模範となる3組織による事例発表があり、最後に東北農政局整備部農地整備課から次期対策の情報提供が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていた。



下刈敷地区環境保全活動組織(栗原市)



上川名地区資源保全隊(柴田町)



おのだ城内・上区集落活動組織(加美町)

平成23年度農業農村整備事業広報大賞決まる!! 「仙台七夕まつり農業農村整備広報活動」が優秀賞受賞

去る、2月23日(木)に東京北の丸公園科学技術館サイエンスホールにおいて、平成23年度農業農村整備広報大賞表彰式が開催された。

広報大賞については、全国農村振興技術連盟が農業農村整備事業に係る広報活動の面で特に顕著な功績のあった団体に対し表彰しているもので、今年度で21回目になります。

今年度は全国から70団体の応募があり、表彰選考委員会で選考された24団体について審査が行われ、宮城県で選考した「仙台七夕まつり農業農村整備広報活動」が優秀賞を受賞した。

◆優秀賞◆

受賞団体:「仙台七夕まつり農業農村整備広報活動」推進協議会(東北農政局・宮城県・水土里ネットみやぎ)

広報内容:「～仙台七夕まつり”こどもに夢を”～仙台七夕まつりで農業農村整備事業をPR



【優秀賞授賞式】



【第16回仙台七夕まつり】

NNスノーバスターズに参加しました!! —七ヶ宿町—



去る、2月11日(土)、豪雪となっている宮城県七ヶ宿町の「湯原集落」において、【NNスノーバスターズ】による除雪が行われた。

県内各地から、NN関係(県・土地連)・町・改良区のボランティア総勢43名が除雪隊を結成し、10班編制で除雪作業を行った。本会からは5名の有志が参加した。

七ヶ宿町は今年に入ってから豪雪となっており、高齢化世帯の除雪が困難な状況となっている。雪に埋もれた民家の除雪を行い、その雪の量に圧倒されたが、1階部分まで降り積もった雪をスコップにて着実に取り除いた。

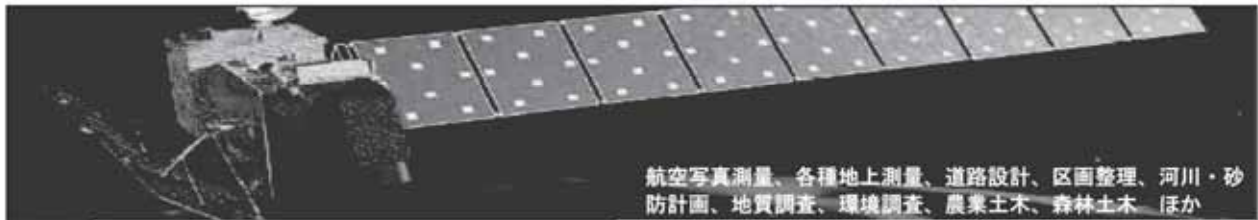
除雪作業終了後には、コミュニティーセンターにて温かい豚汁が振る舞われ、冷えた体を暖めた。最後に参加したボランティア全員で記念写真を撮影し、今回のNNスノーバスターズ的一切を終了した。



【除雪隊集合!!】



【除雪状況】



航空写真測量、各種地上測量、道路設計、区画整理、河川・砂防計画、地質調査、環境調査、農業土木、森林土木 ほか

アジア航測株式会社

仙台市青葉区一番町 1-4-28 小松物産ビル 4F
TEL : 022-216-3553 / FAX : 022-216-3573

なっとく年金 東京海上日動の

〈個人型確定拠出年金/個人型401k〉


※「なっとく年金」は東京海上日動の個人型確定拠出年金(401k)のペットネームです。

☎ 401kに関するお問い合わせ・ご相談は 受付時間/平日 午前9時～午後8時 (祝日・振替休日・年末年始は) 土日 午前9時～午後5時 (お休みさせていただきます。)

☎ **0120-719-401** <http://401k.tokiomarine-nichido.co.jp/>

※確定拠出年金制度へのご加入や401k商品の運用指図にあたっては、必ず運営管理機関が提供する資料等をよくお読みの上、慎重にご判断ください。

東京海上日動火災保険株式会社 仙台支店 古川支社 宮城県大崎市古川駅前大通4-3-1 〒989-6162 TEL:0229-23-8931



オフィスにあるパソコンまわりの「ちょっと助けて！」に
ITあんしんサービスパックⅡ

システム管理者のいないオフィスでも、複数の拠点や運営・管理している企業でも、社員ひとりひとりの「ちょっと助けて」に応えます！

富士ゼロックス宮城株式会社
仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル5F
Tel. 022-221-2131 (代表)

詳しくはWEBでご覧いただけます！
http://www.fujixerox.co.jp/solution/it_safety/

弊社ヘルプデスクにお電話いただくことで、パソコンやネットワーク機器に関するトラブル切り分けを専用のサポートツールを使って遠隔からお手伝いします。



株式会社同和建材

〒989-6124
宮城県大崎市古川石森字天王山2-1
電話 0229-24-2755
FAX 0229-24-2756

- ☆ 農業用水資材販売
- ☆ 上水・下水道資材販売
- ☆ 暗渠排水資材販売
- ☆ 土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

より良い農業環境を



東日本大震災により被災・避難された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

当社では災害支援活動の一環として、被害を受けられたお客様に無償にて製品(期限制限版)の貸出を行っております。

無償提供製品：BV FILE/Raster ver.7.5 + 土木オプション

申し込みは、当社ホームページへ <http://www.bigvan.co.jp/>

土木オプション

- ・SIMA データ
- ・SIMA-DM 座標一覧
- ・クロソイド 法面記号
- ・土量計算 面積計算
- ・トラバース/逆トラバース

株式会社 ビッグバン 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル9F tel 03-3851-2227 fax 03-3851-2228

土地改良区めぐり

柴田郡村田町外一町澄川土地改良区

シリーズ
8

土地改良区の概要

本土地改良区は、県南部のほぼ中央で蔵王町・村田町両町にまたがる受益地約800haの平地農業に属した准農村地帯である。

本地区の用水は、蔵王連峰を源とする澄川・秋山沢川を主な用水源としており、蔵王町遠刈田温泉の東北電力株の管理する澄川取水堰堤及び秋山沢取水堰堤より取水後、遠刈田発電所にて発電に利用され一部を松川を横断し^{いはいわ}疣岩円形分土工に送水され蔵王町・村田町の耕土を潤している。



組織の沿革

^{いはいわ}疣岩円形分土工 (2011 土木遺産認定)

本土地改良区は、蔵王町の旧円田村と、村田町の旧村田町と、旧沼辺村に及ぶ約800haの灌漑用水は、中小河川藪川・荒川の流水を利用していたが古来からしばしば旱害に苦しんでいた。大正時代になって殊の外深刻になり、この打開策として、郷土の先人は町村長を先頭に蔵王山麓の澄川等を水源と内定して、先に取水実績のある黒沢尻用水路の関係者と分水について、柴田郡長の仲立ちのもとに種々協議を行い、その結果をうけて宮城県において「県営宮城県澄川沿岸用水改良事業」として昭和4年3月に着手起工し、3カ年の継続事業で昭和6年7月に通水を開始した。以後今日まで80年にわたり両町の耕土を潤してきている。

また、^{いはいわ}疣岩円形分土工は澄川用水と黒沢尻用水を分水する施設として蔵王町円田地内に有り、国内での建設は初期のものであることからシンプルな構造でBOXの導水路を円形分土工側面壁から導流し、円筒壁頂上面より越流させて分水する構造になっております。これが分土工内堆積土砂の撤去等、維持管理に容易な構造となっております。

各種事業の概要

本土地改良区の幹線用水路は、昭和4年3月に県営事業として起工し3カ年の継続事業より昭和5年度に完成して、昭和6年7月に通水を開始しております。当時の施設は、水路延長は 8.4kmで隧道5箇所、落差工2箇所、サイホン3箇所、分水路3箇所、分土工（大小）12箇所あり、今日まで約800haの耕土を潤してまいりましたが近年、経年変化により補修・修繕箇所が大きくなり、平成7年～平成11年度に県営事業により 1,263 百万円投じて蔵王町分の既設水路の全面改修を終えております。

土地改良区の活動紹介

土地改良区の愛称である「水土里ネット」の意味、また澄川土地改良区の存在を広く知って貰うため、スタッフジャンパー・帽子をセットにし、職員はもとより役員・総代まで全員に配付し組合員に連絡事項或いは文書等配付、又事業等イベントに出席するときは着用するなど広報活動を展開しております。

平成23年度に村田町内4つの小学校統廃合になることで、最上流の5小学校の生徒対象にして、村田の水は何処から流れてくるの?と言う内容で「蔵王源流清水の旅路とその恩恵を尋ねて」(村田町の水源とその恩恵をたずねて)と題して、村田ダム・澄川用水路沿線にある施設(発電所等)を見学・事業実施中の圃場整備状況などを、子供たちと一緒に楽しみながら勉強し学びました。

また、^{いはいわ}疣岩円形分土工を「みやぎ円筒分水サミット」が開催される前に東北大学の教授が調査され、サミット席上では土木遺産としての価値が高く、認定条件を満たしている可能性があるとして折り紙を賜り、^{いはいわ}圏域の疣岩分土工として認識頂けたと思います。

今後、本施設を持つ受益地や歴史的背景のPRについて、また立地されている蔵王町の観光資源としての活用を本改良区と蔵王町がタイアップして環境整備に本格的に取り組む必要があると考えています。



事業(制度)紹介

復旧・復興
対策

農山漁村の受入情報を提供します

農山漁村被災者受入円滑化支援事業

農林水産省では、被災されたり、避難されている皆様に対し、全国の農林水産業関係の雇用、お貸しできる農地や活用できる耕作放棄地、農山漁村の住まい等の受入れ情報を収集・提供しております。

お気軽に下記の問い合わせ先まで御連絡ください。

農林水産省ホームページでも、本支援に関する情報を掲載しています。

(URL: http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/ukeire_sien.html)

受入情報の
提供数
(12月13日現在)

【雇用】 ◇農林水産業関係団体:229社・法人 612人募集

【住まい】 ◇空き家・空き室、農家民宿等:約2,400戸

【農地等】 ◇農地:21市町村273ha 等

他の地域への移転を希望される場合・・・

○受入れ地域とのマッチングを支援します。

- ・個別相談等により、移転希望先等の意向の確認を行います。
- ・農家の方々等の意向を踏まえて、受入れ地域との調整を支援します。
- ・受入れ地域の農地等の事前調査に必要な旅費等を支給します。

お問い合わせ先: 農林水産省農村振興局中山間地域振興課
TEL: 03-6744-2498(平日の9:30~18:15)
農林水産省

復旧・復興
対策

被災した土地改良区の 機能回復に対して支援します

被災土地改良区復興支援事業

支援の内容

- 土地改良区の金融機関からの借入資金について発生する利子に対して助成(無利子化)します。
- 津波や地震により流失、損壊した(注1)業務書類(注2)事務機器の復旧費用に対して助成します。
- 助成は、営農が再開されるまでの最大3年間行います。(H23~H25)

(注1) 被災土地改良区復興支援事業において復旧する業務書類とは
津波等により流失した組合員名簿、土地原簿、賦課台帳、土地改良施設台帳の復旧が必要となった場合に要する諸経費

(注2) 被災土地改良区復興支援事業において復旧する機器類とは
津波等により散逸した上記書類の作成等に必要機器類として、パソコン、プリンタ、複写機、ソフトウェア、ファックス、事務所内LAN、キャビネット、書庫、仮設事務所設置費用、更には二次災害の危険回避のため必要な発電機、簡易ポンプ等

本事業は津波で被災した土地改良区のみでなく、地震等で被災した全土地改良区が助成の対象となります。

更に、事務機器、業務書類以外でも対象になる場合もあるので、
宮城県土地改良事業団体連合会管理指導部管理班(TEL022-263-5814)までお問い合わせ下さい。



今回は宮城県内517の活動組織の中から「大崎市旧迫川右岸地域環境保全推進協議会」の活動をご紹介します。

大崎市旧迫川右岸地域環境保全推進協議会は大崎市地内の活動組織で農業者471人(546.7ha)と大組織で、4ブロック13地区に分け活動を展開しています。

ブロック単位での活動を行うことにより、広範囲の景観が見違えるほど変わり、この活動の成果を感じる事ができます。

活動紹介

◆基礎活動

江払い、刈払い、砂利の補充を実施



◆向上活動

水路・柵の修理及び勾配修正や法面の雑木伐採、異常気象後の見回りを実施



◆農村環境向上活動

老人会・子供会参加による植栽活動や田んぼの生き物調査、ごみ拾いを実施



連 合 会 白 誌



	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
12月	6日	農業・食品産業技術総合研究機構 他	東日本大震災の復旧・復興のための技術講習会・技術相談会	岩手県盛岡市
	7日	農業・食品産業技術総合研究機構 他	大震災からの農業・農村の復興に関する技術シンポジウム	東北大学川内森ホール
	12日	宮城県農村振興課	被災土地改良区復興支援事業に係る説明会	本館 402
	13日	登米・気仙沼地区理事長会	会員研修会	県登米合庁
	20日	全土連	東日本大震災・被災土改区説明会	本館 402
1月	12日	全土連	震災復興地域における土地改良換地の課題検討会(第1回)	本館 役員室
	18日	全土連	都道府県土地連事務責任者研修会並びに事務責任者会議	東京都 全国都市会館
	30日	全土連	被災土地改良区復興支援事業担当者会議	本館 役員室
	30日	農林水産省	衛星画像活用事業打合せ(水土里情報)	本館 402
2月	1日	全土連	震災復興地域における土地改良換地の課題検討会(第2回)	本館 役員室
	2日	宮城県農林水産部	みやぎ農業農村震災復興シンポジウム	仙台サンプラザ
	8日	宮城県農地・水・環境保全向上対策地域(協)	平成23年度農地・水保全管理支払活動組織支援研修会	大和町 まほろばホール
	9日	全土連	水土里情報システム改修業務連絡協議会	東京都
	10日	宮城県農村整備課	農業水利施設ストックマネジメント推進会議施設管理研修会	本館 大会議室
	10日	宮城県農村整備課	国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)担当者会議	本館 大会議室
	15日	本会	会長・副会長会議	大崎市
	21日	全土連	農業農村整備優良地区コンクール選定審査会	東京都 砂防会館別館
	21日~22日	全土連	土地改良区合併推進リーダー育成研修会	東京都
	22日~23日	仙台地区土地改良区理事長会	研修会	仙台市太白区
	22日~23日	本会 東部支部	会員研修会	大崎市鳴子
	23日	東北・北海道土地連絡(協)	東北・北海道土地連技術主任者会議	青森県土地連
	28日	全土連	農業農村整備公報会議	東京都
28日	全土連	都道府県土地連事務責任者会議	東京都	
3月	1日~2日	東北・北海道土地連絡(協)	第2回事務責任者会議	青森県
	6日	本会	第3回会長・副会長会議及び第5回理事会	メトロポリタン仙台
	7日~8日	本会 北部支部	役員員研修会	大崎市鳴子
	12日	全土連	小水力発電に関する連絡会議	東京都 砂防会館別館
	23日	全土連	土地改良施設維持管理適正化事業運営委員会	東京都 砂防会館別館
	26日	宮城県中山間地域活性化推進(協)	「みやぎの中山間地写真コンクール」審査会	本館 役員室
	27日	全土連	第54回 通常総会及び土地改良功労者表彰式	東京都
	28日	本会	第53回 通常総会	本館 大会議室

今 後 の 行 事 予 定



	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
5月	中旬	東北・北海道土地連絡(協)	通常総会	-
	下旬	宮城県農地・水・環境保全向上対策地域(協)	通常総会	仙台市
6月	上旬	宮城県中山間地域活性化推進(協)	幹事会	仙台市
	中旬	宮城県中山間地域活性化推進(協)	通常総会	仙台市
	中旬	本会	第1回監事会・理事会	仙台市

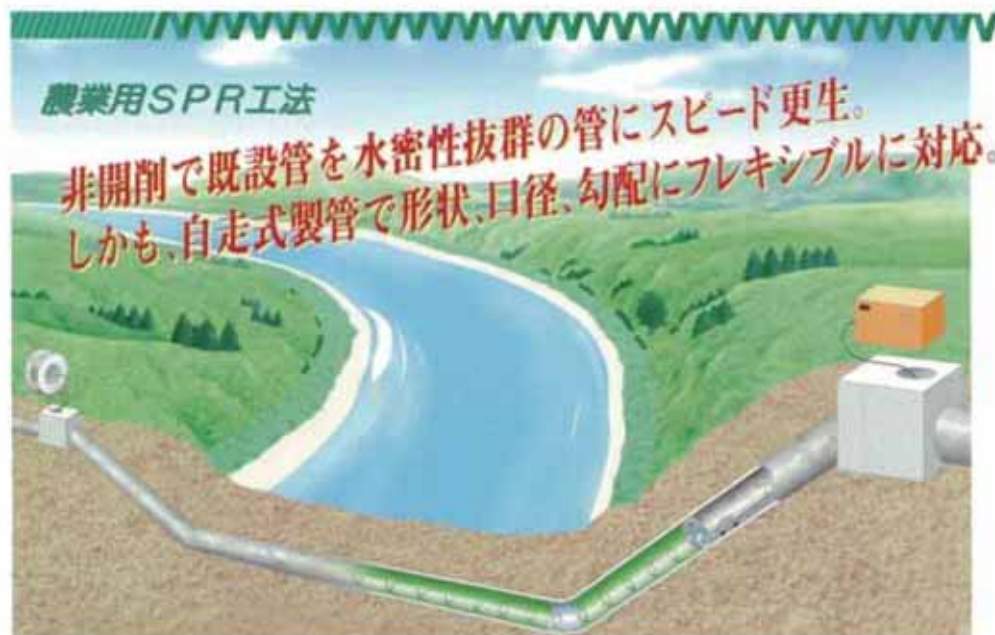
GIS開発/データ作成/ファイリング
VELTEC
株式会社ベルテック

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目4番3号
 TEL 022-299-1231 FAX 022-299-1141

◆ 主な業務内容 ◆

- GIS支援業務 : 地理情報システム・開発・解析処理等
- データベース・ファイリング業務 : CAD入力・電子化ファイリング等
- 広告・デザイン・看板製作業務 : ポスター・のぼり・看板等
- 測量調査業務 : 航空写真測量・地上測量・農地現況調査等

*一般社団法人 JASFA会員



日本SPR工法協会 東北支部
 〒981-0954 仙台市青葉区川平1丁目5-30
 電話 022-279-5683 (ファクシミリ兼用)

日本SPR工法協会
 TEL 03-3234-8495(代)
 ホームページ <http://www.spr.gr.jp/>

● 発行 2012年4月1日

水土里ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会)
 〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号
 Tel 022-263-5811 (代表) / Fax 022-268-6390
<http://www.mlw.or.jp>

● 印刷

株式会社 セント
 〒981-0902 仙台市青葉区北根四丁目2番20号
 Tel 022-301-5230 / Fax 022-718-6539

